

市役所本庁舎の建て替え 設計者による設計提案の説明会 実施結果

○開催概要

日 時 平成 26 年 2 月 9 日（日）午前 10 時～12 時

場 所 市役所本庁舎 3 階第 5・6 委員会室

参加者 30 名（このうち、5 名の方より、後日意見提出票による質問等がありました）

※以下の回答では、設計者による回答：設）、市からの回答：市）と標記しています

1 設計提案の概要について

	意見	回答
1	設計コンセプトはどのようなものか。	<p>設) コンセプトとして、計画敷地に合った景観とすること、庁舎として使いやすいこと、これからの庁舎のあり方を考え、市民と行政が協働して市川市の色んな課題に取り組んでいく際に必要となる市民の協働スペースを市役所の核になる部分（市民協働テラス）を計画しました。</p> <p>また、イニシャルコストやライフサイクルコストを削減し、合理的で費用対効果の高い建物とし、環境的にも精神的にも市民が誇れる庁舎としていきます。</p>
2	基本構想と提案の機能・面積・コストの比較表を提示してほしい	<p>市) 今回の設計者選定は、プロポーザル方式を採用しており、課題に対する基本的考えを評価し、設計者を決定しました。</p> <p>このため、具体的な比較表などの資料はなく、今後、基本設計作業の中で、機能・面積・コストを含め、設計内容を詳細に検討していくこととなります。</p>

2 建物構造について

	意見	回答
3	免震構造のメリットはなにか	設) 免震装置により地震力(揺れ)を軽減するため、免震装置の上に乗った建物はゆれにくくなります。このため、大きな地震が来た場合に、家具等が倒れにくいため、建物の中の人々の安全が確保されるメリットがあります。
4	計画敷地は砂州の上にあるため地盤は弱くないか また、ひな壇状の建物は低い方の躯体が浮き、高い方に倒れやすくないか	設) 建物を支持する地盤はボーリング調査を行って地盤の状況を確認し、建物を支えられる杭基礎を設けていきます。免震装置には建物の重みを支えながら揺れを軽減するタイプ、建物が浮かないようにおさえるようなタイプ等、いくつかのタイプがあり、適所にそれらを併用して用いることで、安定した構造体を形成しようと考えています。
5	免震装置は、直下型地震へのデータが乏しいようだが無駄ではないか	設) 兵庫県南部地震、新潟県中越地震で免震建物の安全性は確認されています。 直下型地震の場合、免震建物が苦手な上下方向の地震動も作用しますが、これらの影響を考慮して安全に設計を行っていきます。
6	庁舎の寿命はどのくらいか。	設) 建物の構造体の寿命は、100年としています。 なお、間仕切り変更や設備機器の変更等、将来的なニーズの変更に対応できるようにし、ランニングコストの削減など、長い目を見た設計のコンサルティング等をしていくことが重要だと思っています。

3 庁舎のコスト・維持管理について

	意見	回答
7	北側の緑は、具体的にどのようなものを植えるのか。	設) 空隙率・保水性を考慮した屋上緑化に適した土壌の元、健全にゆっくりと育つ盆栽のような緑を計画する。植える植物については、市川らしい・育てやすい・紅葉のある等多様性に富んだ計画としていきます。 メンテナンス費はある程度かかりますが、大きなメンテナンス費がかからないような工夫を考えたいと思っています。
8	メンテナンスに費用が少なくて済む材料・構造を採用してほしい	設) 新庁舎のライフサイクルコスト削減は、設計の大きなテーマと認識しています。 いただいた意見に十分配慮しながら、設計において、さまざまな技術提案をしていきたいと考えています。
9	経済性、太陽光の利用等、空調工事をよく計画してほしい	
10	緑化ルーバーはメンテナンスしやすいように考慮してほしい	
11	森ECO庁舎は潤沢な水源をもった土の理屈ではないのか(メンテナンス費用が多額にならないか)	設) 森ECO庁舎は、森の環境にならい、放射空調や植物の蒸散効果を活用した自然通風を取り込むことで、快適な環境と省エネルギーの両立を目指すものです。基本設計の中で詳細を詰め、費用対効果の高いものとしします。
12	これからの建築業界の人件費・資材費等のコストアップ・消費税の値上げに対し、どのように対処するのか	設) 合理的な柱スパンの検討による地階の大幅な合理化などにより、対応したいと考えています。 現時点で、将来的なコストアップの要因がどの程度になるかは分かりませんが、様々な設計上の工夫によって、これに対応していきたいと考えています。
13	現状の維持管理費がどのくらい削減できるのか	市) 現在、テナントビル含め、本庁舎周辺に事務所が9か所に分散していますので、これを集約することで家賃等が大幅に削減できると考えています。 また、新庁舎に設置する太陽光発電・環境装置など効果によって、さらに削減効果が期待できると考えています。

	意見	回答
14	国道側にクロマツ並木を設置できないか	設) 歩道の整備等、敷地周辺の公共空間の具体的な内容については、今後の基本設計の中で検討します。

4 市民ワークショップについて

	意見	回答
15	ワークショップの参加者の選定方法と、開催期間および頻度はどのくらいか。	設) 市民ワークショップの参加者構成は、公募市民 35 名程度、関係団体（障害者・学生・子育て関係等など）15 名程度、合計 40～50 人程度を想定し、会議は 4 チーム（各 10 名程度）で行いたいと考えております。 期間は、基本設計期間中を予定し、市民ワークショップ数回、基本設計中間報告会、基本設計報告会の流れで考えています。また、第三者的なファシリテーターの参加も検討しています。
16	ワークショップのテーマはどのように設定するつもりか。 例えば、議員と市民が交流できるような議会スペースのあり方や災害時の市役所のあり方等についても、話し合うことができるのか。	設) 基本的に市民利用のあるスペースについてワークショップを行う予定ですが、第一回目のワークショップでは、みなさんと話し合いながらテーマの検討もしたいと思っています。ただし、テーマが沢山になると話し合いの内容が希薄になる恐れもあるので、状況を見て検討していきたい考えです。 市) なお、議会に対しては、要望等を受けており説明もしています。災害時の避難所及び帰宅支援所等については、県で定める方針の中で今後検討したいと考えています。
17	ワークショップは基本設計に対し、どこまで意見を取り入れることができるのか	設) ワークショップでは、窓口やテラスなど、市民のみなさんが利用するスペースのあり方について、幅広い意見・アイデアをいただきたいと考えております。
18	どのようなワークショップを行うのか	
19	ワークショップは時間をかけ、丁寧に行っていただきたい	設) ワークショップは全 4 回の開催を予定しております。また、これにあわせ市民説明会も行うなど、幅広く情報提供などに努めていきたいと考えております。

5 その他

	意見	回答
20	市庁舎建て替えの戦略的目的を市民に説明してほしい	<p>市) 市では、基本構想、基本計画、実施計画の3層構造で構成する総合計画を定めており、このうち将来都市像を定めた基本構想は、平成37年度までを目標年度としています。</p> <p>現在は、基本計画の第二期であり、福祉、子育て、市民協働などの様々な施策の方向性が定められています。</p> <p>市庁舎の建て替えについては、基本計画のなかで、安全で快適な魅力あるまちとして、快適な暮らしを支え、質の高い都市基盤整備を進める事業として、市民の安全を守り、防災拠点機能を確保していくことを目的として位置付けられています。</p>
21	プロポーザルで提案を行う際に、市からどのような条件・情報を得て提案したか。	<p>設) 基本構想の情報をベースに提案しています。</p> <p>なお、30年先を想定した際は、新第1・2庁舎のスペースは必要ですが、50年先、100年先については人口の減少が生じるため、新第1庁舎側に庁舎機能が集約されると想定し、新第2庁舎は多様な用途の利用が可能な計画にした提案としています。</p>
22	工事期間中の仮庁舎先および仮庁舎期間を確認したい。	<p>市) 平成27年より、現在の南分庁舎の敷地に新第2庁舎を建設しますので、現在の南分庁舎の部署及び現在の本庁の事業者を対象とした部署は市川南の仮庁舎に移転します。</p> <p>平成29年からは、本庁舎にある市民課、福祉の相談窓口などは新第2庁舎へ移転します。</p> <p>市民利用が多い窓口については、平成29～31年末頃まで、新第2庁舎を仮本庁舎として利用していただきたいと考えています。</p>